

古河電工グループ° 2025年度第2四半期決算

2025年11月10日

古河電気工業株式会社

代表取締役社長 森平 英也

代表取締役 兼 執行役員常務 財務本部長 青島 弘治

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

25年度上半期実績および25年度通期予想

- 25年度上半期実績のポイント
 - 25年度通期予想について
 - 株主還元
 - データセンタ関連事業の進捗状況
 - 次期中長期戦略の方向性
-
- 25年度上半期実績
 - 要約P/L
 - 売上高・営業利益の増減要因
 - 25年度通期予想
 - 要約P/L
 - セグメント別 売上高・営業利益
 - 25年度上半期実績
 - 要約B/S
 - 設備投資額・減価償却費・研究開発費

Appendix

25年度上半期実績および25年度通期予想

25年度上半期実績のポイント

■ 前年比増収、各段階損益で増益

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY24_H1	FY25_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	5,704	6,107	+ 403
営業利益	175	194	+ 18
経常利益	190	205	+ 15
親会社株主に帰属する 当期純利益	112	129	+ 18
銅建値 平均	1,497	1,461	▲ 36
為替 平均	153	146	▲ 7

25年度通期予想について

■ 通期予想は据え置き

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY24	FY25 前回予想*	FY25 予想	前年比
	a	b	c	c-a
売上高	12,018	12,000	12,000	▲ 18
営業利益	471	530	530	+ 59
経常利益	486	520	520	+ 34
親会社株主に 帰属する 当期純利益	334	360	360	+ 26
銅建値 平均	1,478	1,335	1,398	▲ 80
為替 平均	153	140	143	▲ 10

* 2025/8/7公表

(参考) 米国関税措置の影響と対応

関税措置による直接影響

コスト増加

- 原材料・製品等の購入
- 販売時の関税負担 など

情報通信
ソリューション

自動車部品・
電池

対応

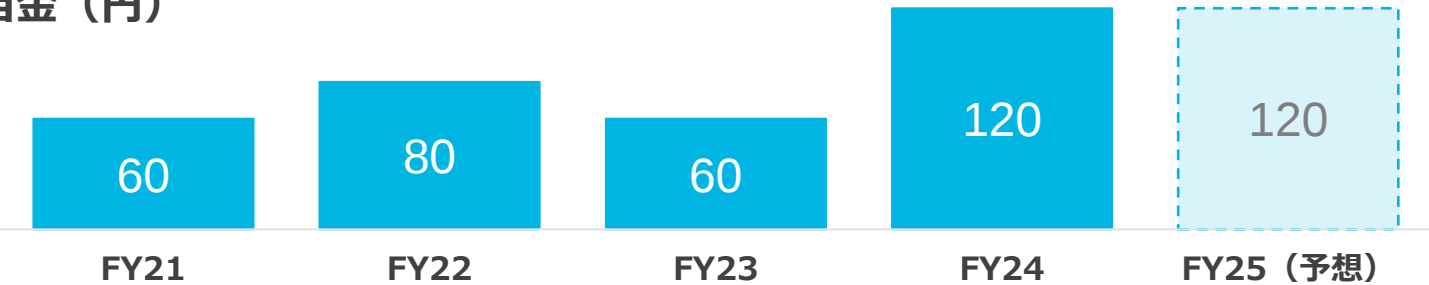
コスト増をリカバー

- 価格転嫁
- サプライチェーンの変更
- 貿易条件変更 など

H2前提
銅建値：1,335円/kg
為替：140円/米ドル

■ 期末配当は、1株当たり120円を予想しております
(2025年5月13日公表値を据え置き)

1株当たりの年間配当金（円）



親会社株主に帰属する 当期純利益	101億円	159億円	65億円	334億円	360億円
配当性向	41.8%	35.4%	64.9%	25.3%	23.5%

株主還元の方針

安定的かつ継続的に株主還元していくことを基本方針とし、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目途として業績に連動した配当を実施

データセンタ関連事業の進捗状況 (光ファイバ・ケーブル、光部品)

■ 製造能力増強は順調に進捗、さらに拡大を続ける需要への対応を加速

ローブルリボン ケーブル



三重工場の増強は計画通りに
進行中、Q4から効果発現

MTフェルール



製造能力は23年度比5倍に到達

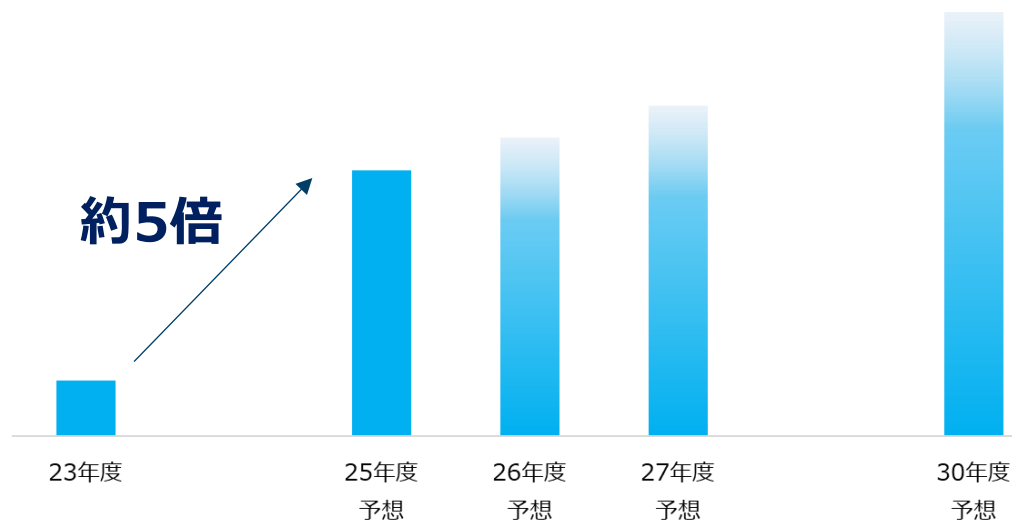
DFBレーザ チップ



製造能力は23年度比5倍に到達

- 今後も段階的な能力増強を継続
- データセンタの進化に対応する製品・ソリューションを拡充
(超多心プリコンケーブル、CPO市場向け製品等)

データセンタ市場向け売上高推移 (光ファイバ・ケーブル、光部品)



データセンタ関連事業の進捗状況 (放熱・冷却システム)

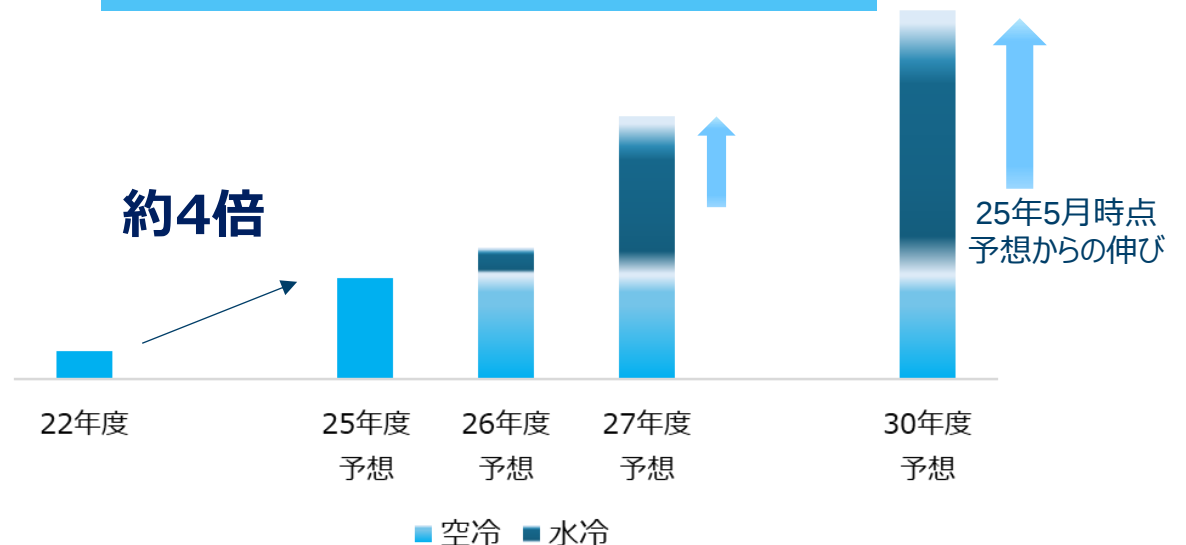
■ データセンタ用冷却関連市場は引き続き成長見込み、製造能力をさらに増強

- 水冷新工場立上げ準備は順調に進捗
(2026年9月量産開始予定)
 - 生成AI用演算装置の性能向上に伴う発熱量増加により、水冷製品の所要がさらに拡大
- ▶
- 工場を拡張し、受注増加と適用範囲の拡大に対応

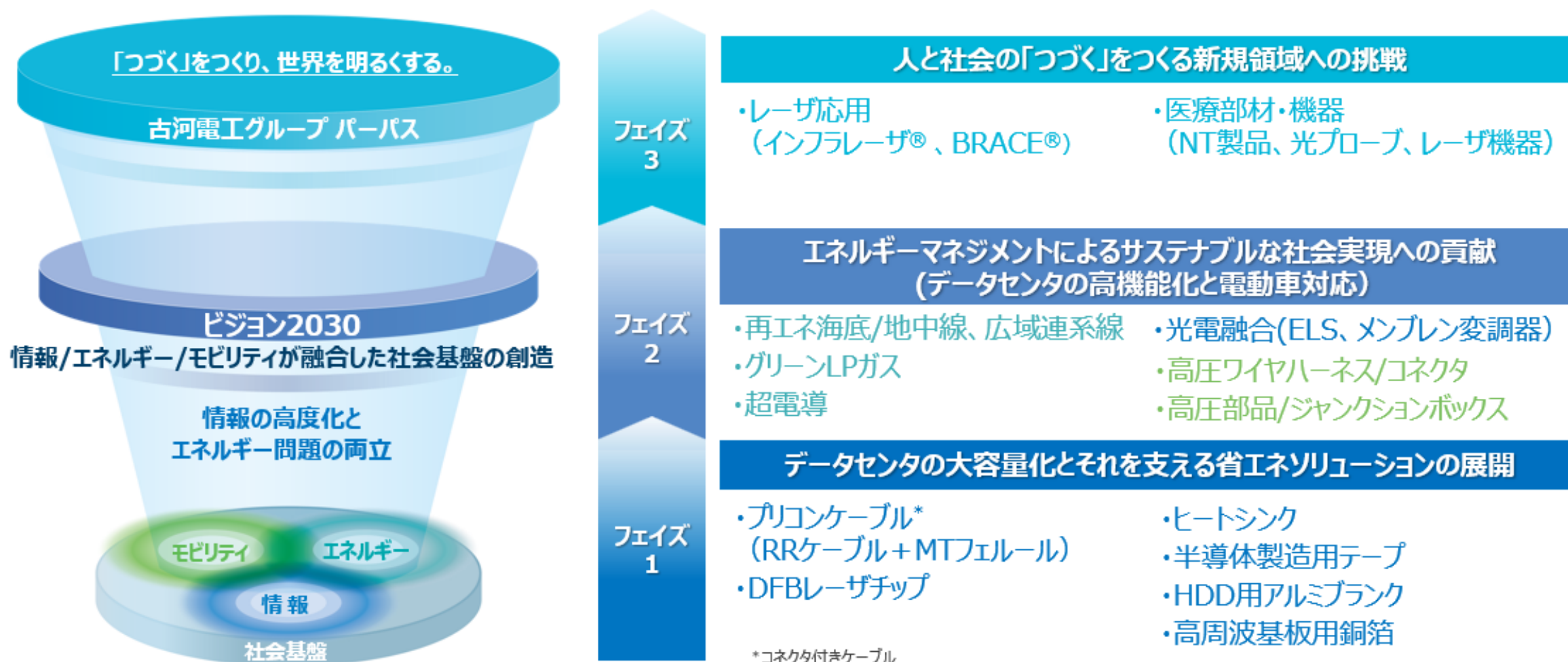


FTL (フィリピン) 水冷工場

放熱・冷却システム売上高推移



■ パーパスを軸とした経営を志向、ビジョン2030達成に向け成長戦略を加速



25年度上半期実績および25年度通期予想（詳細）

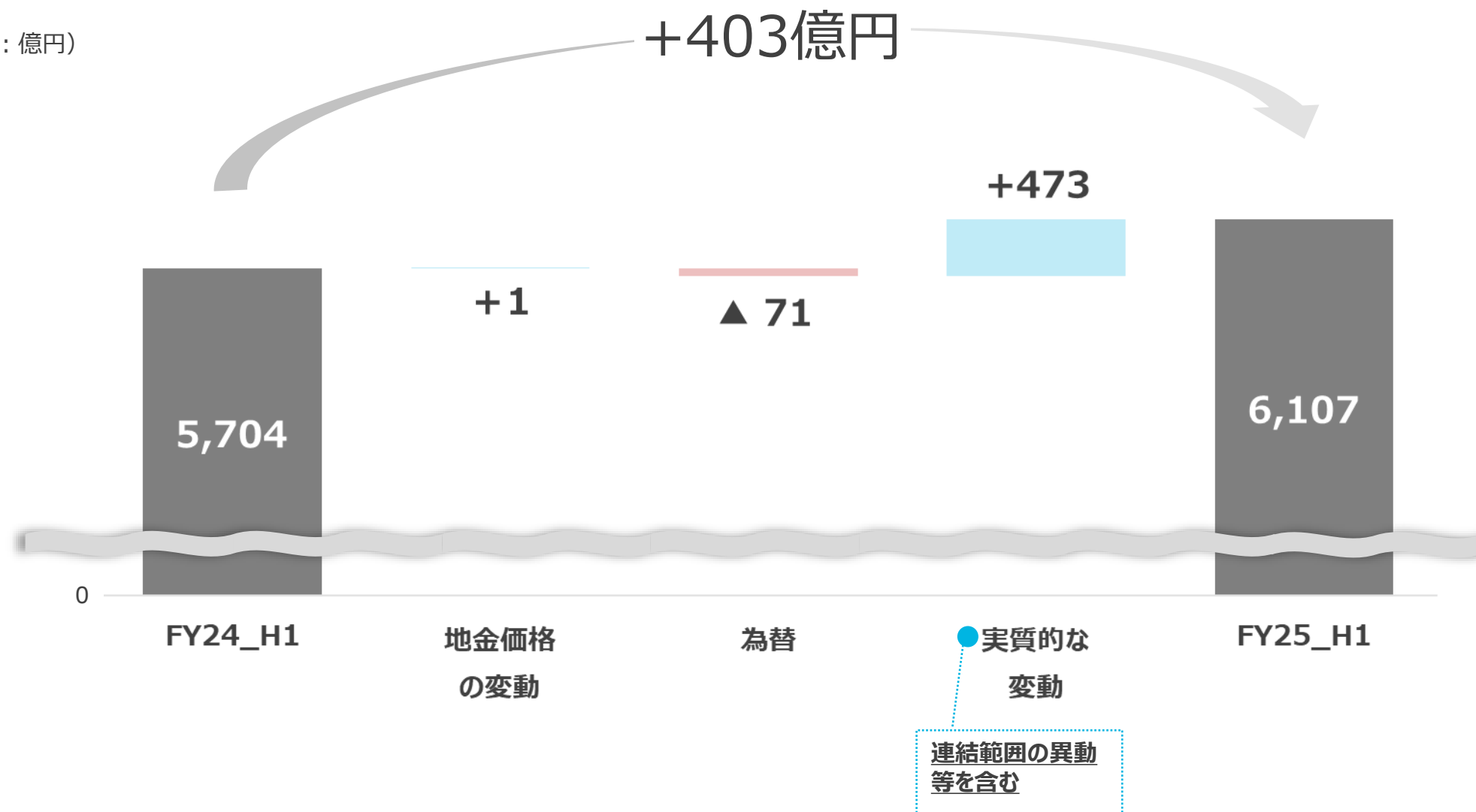
25年度上半期実績-要約P/L

■ 前年比増収増益、想定どおりの進捗

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY24_H1	FY25_H1	前年比	主な増減内訳
	a	b	b-a	
売上高	5,704	6,107	+403	13ページ参照
営業利益	175	194	+18	14ページ参照
(率)	3.1%	3.2%	+0.1	
受取/支払利息	▲ 40	▲ 39	+1	
持分法投資損益	62	51	▲ 11	
為替損益	▲ 26	▲ 20	+6	
経常利益	190	205	+15	
(率)	3.3%	3.4%	+0.0	
特別損益	▲ 31	4	+35	・特別利益：+4 (15→19)
法人税等	▲ 31	▲ 63	▲ 32	・特別損失：+31 (▲ 46→▲ 15)
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 16	▲ 16	+0	
親会社株主に帰属する 当期純利益	112	129	+18	
(率)	2.0%	2.1%	+0.2	
銅建値 平均	1,497	1,461	▲ 36	
為替 平均	153	146	▲ 7	

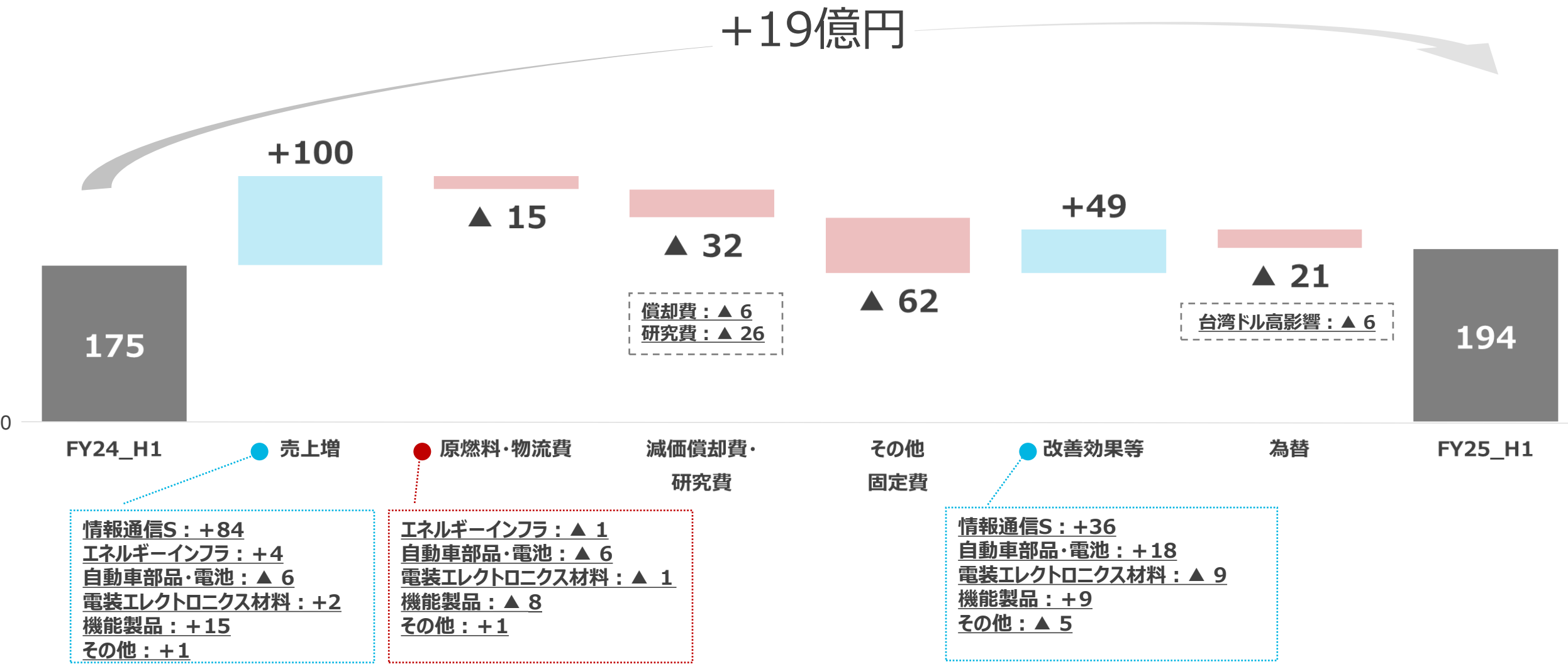
25年度上半期実績-売上高の増減要因

(単位：億円)



25年度上半期実績-営業利益の増減要因

(単位：億円)



25年度通期予想-要約P/L

■ 通期予想は据え置き

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY24	FY25 前回予想*	FY25 予想	前年比	前回予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	12,018	12,000	12,000	▲ 18	—
営業利益	471	530	530	+59	—
(率)	3.9%	4.4%	4.4%	+0.5	—
受取/支払利息	▲ 80	—	—	—	—
持分法投資損益	106	—	—	—	—
為替損益	▲ 22	—	—	—	—
経常利益	486	520	520	+34	—
(率)	4.0%	4.3%	4.3%	+0.3	—
特別損益	55	60	60	+5	—
法人税等	▲ 168	—	—	—	—
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 40	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	334	360	360	+26	—
(率)	2.8%	3.0%	3.0%	+0.2	—
銅建値 平均	1,478	1,335	1,398	▲ 80	+63
為替 平均	153	140	143	▲ 10	+3

H2前提
銅建値：1,335円/kg
為替：140円/米ドル

* 2025/8/7公表

セグメント別 売上高・営業利益



■ 通期予想は据え置き

(単位：億円)	売上高			営業利益			売上高					営業利益				
	FY24_H1	FY25_H1	前年比	FY24_H1	FY25_H1	前年比	FY24	FY25 前回予想*	FY25 予想	前年比	前回 予想比	FY24	FY25 前回予想*	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	b-a	c	d	d-c	e	f	g	g-e	g-f	h	i	j	j-h	j-i
インフラ	1,439	1,722	+283	▲ 24	27	+51	3,091	3,750	3,750	+659	—	58	140	140	+82	—
情報通信ソリューション	767	1,034	+268	▲ 56	1	+57	1,670	2,350	2,350	+680	—	▲ 40	75	75	+115	—
エネルギーインフラ	672	688	+15	32	26	▲ 7	1,421	1,400	1,400	▲ 21	—	98	65	65	▲ 33	—
電装エレクトロニクス	3,506	3,521	+14	145	131	▲ 14	7,364	6,650	6,650	▲ 714	—	326	270	270	▲ 56	—
自動車部品・電池	1,968	1,947	▲ 21	113	108	▲ 5	4,095	3,700	3,700	▲ 395	—	276	220	220	▲ 56	—
電装エレクトロニクス材料	1,538	1,574	+36	32	22	▲ 9	3,270	2,950	2,950	▲ 320	—	50	50	50	0	—
機能製品	724	807	+82	79	74	▲ 6	1,470	1,600	1,600	+130	—	141	170	170	+29	—
サービス・開発等	165	199	+34	▲ 24	▲ 37	▲ 13	348	400	400	+52	—	▲ 54	▲ 50	▲ 50	+4	—
連結消去	▲ 131	▲ 141	▲ 10	▲ 1	▲ 1	+0	▲ 256	▲ 400	▲ 400	▲ 144	—	▲ 1	0	0	+1	—
連結合計	5,704	6,107	+403	175	194	+18	12,018	12,000	12,000	▲ 18	—	471	530	530	+59	—

* 2025/8/7公表

セグメント別 営業利益



主なセグメントの営業利益

(単位：億円)											通期予想 前年比の主な要因
セグメント	サブセグメント	H1	H2	FY24	H1	H2 予想	FY25 最新予想	H1	H2	前年比	
		a						b-a			
インフラ	情報通信 ソリューション	▲ 56	16	▲ 40	1	74	75	+57	+58	+ 115	・ データセンタ関連製品の売上増 (増産投資効果の発現)
	エネルギー インフラ	32	66	98	26	39	65	▲ 7	▲ 26	▲ 33	・ 個々の案件の採算性の違い
電装 エレクトロ ニクス	自動車部品・ 電池	113	163	276	108	112	220	▲ 5	▲ 51	▲ 56	・ 古河電池の非連結化 (Q4) ・ 固定費増加 ・ 中国・東南アジアでの減収 (Q2～)
	電装エレクトロ ニクス材料	32	19	50	23	28	50	▲ 9	+9	0	
機能製品		79	62	141	74	96	170	▲ 6	+ 35	+ 29	・ データセンタ関連製品の需要堅調
連結合計 (サービス・開発等、消去等を含む)		175	296	471	194	336	530	+18	● +41	+ 59	

(参考) 上段：銅建値平均 円/kg、 下段：為替平均 円/米ドル

FY24_ H1	FY24_ H2	FY24	FY25_ H1	FY25_ H2予想	FY25 (参考値)
1,497	1,460	1,478	1,461	1,335	1,398

(参考) 上段：銅建値平均 円/kg、下段：為替平均 円/米ドル

FY24_H1	FY24_H2	FY24	FY25_H1	FY25_H2予想	FY25(参考値)
1,497	1,460	1,478	1,461	1,335	1,398
153	153	153	146	140	143

うち 為替影響 ▲ 約20億円

セグメント別売上高・営業利益

1-(1) インフラ(情報通信ソリューション)

FY25_H1

増収・増益

(単位：億円)

	FY24_H1	FY25_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	767	1,034	+268
営業利益	▲ 56	1	+57

【増減益要因】

(+) データセンタ向け製品等の売上増

(±) 新規連結の影響

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*1	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,670	2,350	2,350	+680	—
営業利益	▲ 40	75	75	+115	—

据え置き

事業環境の認識

>>

FY25_H1

FY25_H2

>>

データセンタ市場向け需要増
(データセンタ事業者・ダークファイバプロバイダ・通信システムプロバイダ)

注力ポイント

- 米国関税措置への対応
- データセンタ向け製品の開発・製造・販売体制強化

ローラブルリボンケーブル・
ソリューション

MTフェルール

DFBLレーザ*2

*1 2025/8/7公表

*2 Distributed Feedback Laser (分布帰還型レーザ)

1-(2) インフラ(エネルギーインフラ)

FY25_H1

増収・減益

(単位：億円)

	FY24_H1	FY25_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	672	688	+15
営業利益	32	26	▲ 7

【増減益要因】

・国内超高圧・再エネ関連・機能線の
需要が引き続き堅調

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,421	1,400	1,400	▲ 21	—
営業利益	98	65	65	▲ 33	—

据え置き

事業環境の認識

	FY25_H1	FY25_H2
>>		>>
国内超高圧	堅調な国内地中線の更新・再エネ関連需要	
海底線		
中国国内	需要回復時期は不透明	
機能線/部品	堅調な需要	

注力ポイント

- 利益重視の受注
- ケーブル製造および工事施工能力の増強
 - 国内超高圧・海底線
 - 再エネ関連
- マーケティング活動の推進による拡販
 - らくらくアルミケーブル®
 - 送配電部品

2-(1) 電装エレクトロニクス(自動車部品・電池)

FY25_H1

減収・減益

(単位：億円)

	FY24_H1	FY25_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,968	1,947	▲ 21
営業利益	113	108	▲ 5

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*1	FY25 予想	前年比*2	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	4,095	3,700	3,700	▲ 395	—
営業利益	276	220	220	▲ 56	—

据え置き

【増減益要因】

(－) 自動車向け電池の売上減少

事業環境の認識

>>

FY25_H1

FY25_H2

>>

自動車
部品

自動車生産台数は前年並み

中国・東南アジア市場での売上減

電池

Q4からの非連結化を想定

注力ポイント

- ・ 米国関税措置への対応
- ・ 電動車市場に向けた製品開発
- ・ 組み立ての自動化

アルミワイヤハーネス・高電圧対応品

*1 2025/8/7公表

*2 電池事業非連結化の影響（Q4を想定）

売上高 : ▲約210億円

営業利益 : ▲約20億円

2-(2) 電装エレクトロニクス(電装エレクトロニクス材料)

FY25_H1

増収・減益

(単位：億円)

	FY24_H1	FY25_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,538	1,574	+36
営業利益	32	22	▲ 9

【増減益要因】

(－) 為替・銅価による影響
(実態は前年並み)

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*1	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	3,270	2,950	2,950	▲ 320 *2	－
営業利益	50	50	50	0	－

据え置き

事業環境の認識

>>

FY25_H1

FY25_H2

>>

エレクトロニクス関連製品需要は回復傾向

注カポイント

- 高付加価値製品の拡販による製品ミックス改善

耐熱無酸素銅条
(パワー半導体・放熱部品用)

リボン線・極細平角線
(通信・インフラ用)

高機能製品
(抵抗材等)

- 販売価格の適正化と低採算品種の撤退

*1 2025/8/7公表

*2 銅価・為替変動の影響を含む

セグメント別売上高・営業利益

3 機能製品

FY25_H1

増収・減益

(単位：億円)

	FY24_H1	FY25_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	724	807	+82
営業利益	79	74	▲ 6

【増減益要因】

- (+) データセンタ関連製品の売上増
- (-) 台湾ドル高の影響 (銅箔)
- (-) 主要顧客の需要変化
(半導体製造用テープ)

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,470	1,600	1,600	+130	—
営業利益	141	170	170	+29	—

据え置き

事業環境の認識

>>

FY25_H1

FY25_H2

>>

データセンタ関連投資の活況継続

為替影響 (台湾ドル高)

中国の半導体内製化進行

注力ポイント

- データセンタや再エネ関連市場向け高付加価値製品の増産・拡販

半導体
製造用テープ

高機能
フォーム製品

高機能放熱・
冷却製品

HDD用薄型
アルミblank材

高周波基板用
銅箔

25年度上半期実績-要約B/S

(単位：億円)	FY24末	FY25_H1末	増減
	a	b	b-a
流動資産	5,564	5,791	+227
現金及び預金	600	666	+66
受取手形、売掛金及び契約資産	2,606	2,625	+20
棚卸資産計	1,950	2,057	+106
固定資産	4,306	4,528	+222
有形固定資産	2,770	2,806	+36
無形固定資産	229	243	+14
投資その他の資産	1,307	1,479	+172
資産合計	9,870	10,319	+449
流動負債	3,945	4,377	+432
固定負債	2,192	2,093	▲ 99
負債合計	6,137	6,470	+333
株主資本	2,915	2,952	+37
その他の包括利益累計額	499	578	+78
非支配株主持分	319	320	+1
純資産合計	3,733	3,850	+116
負債・純資産合計	9,870	10,319	+449
自己資本比率	34.6%	34.2%	▲ 0.4
NET有利子負債	2,462	2,752	+290
NET D/Eレシオ	0.72	0.78	+0.06

棚卸資産 106億円 増加
将来売上予定のプロジェクト・工事案件等の影響 +27億円

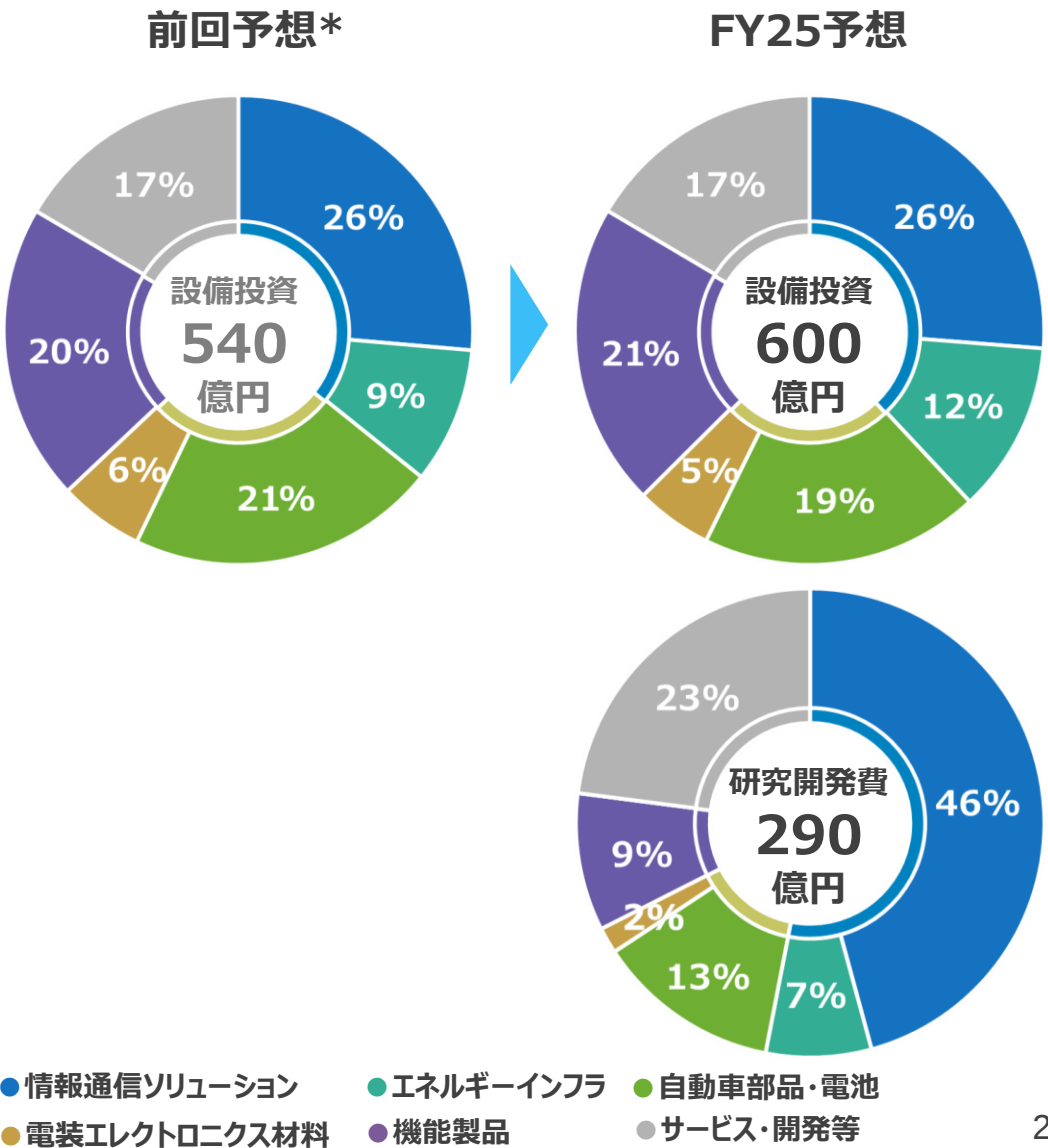
有形・無形固定資産 50億円 増加

投資その他資産 172億円 増加
投資有価証券 +159億円

資産合計 449億円 増加

■ 設備投資額の通期予想を見直し
・ 主に増産投資を実施予定

(単位：億円)	FY24_H1	FY25_H1	前年比	FY24	FY25 前回予想*	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	b-a	c	d	e	e-c	e-d
設備投資額	150	233	+83	386	540	600	+214	+60
減価償却費	204	210	+6	413	420	420	+7	－
研究開発費	124	151	+26	254	290	290	+36	－



* 2025/5/13公表

ご清聴ありがとうございました
Thank you

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。



補足資料-Appendix

- 事業セグメント別 25中計目標（売上高・営業利益）
- セグメントと事業部門

Appendix 事業セグメント別 25中計目標（売上高・営業利益）



(単位：億円)

(単位：億円)		FY22			FY23			FY24（リステイト後）*1			FY25予想			FY25目標（2022年5月26日公表）		
		売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率
インフラ		3,239	86	2.7%	2,782	▲113	▲ 4.0%	3,091	58	1.9%	3,750	140	3.7%	3,600	160	4.4%
	情報通信ソリューション	2,176	65	3.0%	1,680	▲130	▲ 7.7%	1,670	▲40	▲ 2.4%	2,350	75	3.2%	2,300	115	5.0%
	エネルギーインフラ	1,063	21	2.0%	1,102	17	1.6%	1,421	98	6.9%	1,400	65	4.6%	1,300	45	3.5%
電装エレクトロニクス		6,103	47	0.8%	6,537	187	2.9%	7,364	326	4.4%	6,650	270	4.1%	5,900	235	4.0%
	自動車部品・電池	3,374	15	0.4%	3,798	156	4.1%	4,095	276	6.7%	3,700	220	5.9%	3,300	165	5.0%
	電装エレクトロニクス材料	2,730	32	1.2%	2,739	31	1.1%	3,270	50	1.5%	2,950	50	1.7%	2,600	70	2.7%
機能製品※		1,265	42	3.3%	1,154	55	4.8%	1,470	141	9.6%	1,600	170	10.6%	1,650	195	11.8%
サービス・開発等		317	▲ 21	▲ 6.6%	316	▲19	▲ 6.0%	348	▲54	▲ 15.4%	400	▲50	▲ 12.5%	400	▲10	▲ 2.5%
合計（消去等を含む）		10,663	154	1.4%	10,565	112	1.1%	12,018	471	3.9%	12,000	530	4.4%	11,150	580	5.2%

参考

機能製品（特殊要因 ^{*2} を除く）	1,142	18	1.6%	1,154	55	4.8%	1,470	141	9.6%	1,600	170	10.6%	1,433	153	10.7%
------------------------------	-------	----	------	-------	----	------	-------	-----	------	-------	-----	-------	-------	-----	-------

*1 FY25より産業用レーザー事業をインフラセグメント（情報通信ソリューション）からサービス・開発等セグメントへ、メタル電線事業をインフラセグメント（情報通信ソリューション）から（エネルギーインフラ）へ移管および本部費配賦の一部変更についてFY24の実績値をリステイト

*2 FY22Q4より東京特殊電線（株）連結除外

円/kg、円/米ドル	FY22	FY23	FY24	FY25（参考値）	FY25目標
銅建値平均	1,209	1,262	1,478	1,398	1,085
為替平均	135	145	153	143	110

Appendix セグメントと事業部門

Segment	Sub-segment	Business Division
インフラ	情報通信ソリューション	光ソリューション（ファイバ・ケーブル）
		ファイテル製品
		ブロードバンドソリューション
	エネルギーインフラ	電力
		産業電線・機器
電装エレクトロニクス	自動車部品・電池	自動車部品
		電池
	電装エレクトロニクス材料	導電材
		銅条・高機能材
機能製品		AT・機能樹脂
		サーマル・電子部品
		メモリーディスク
		銅箔
サービス・開発等		